



令和6年11月5日  
長寿社会課 地域包括ケア推進担当  
担当者 江島  
内線 1757 直通 0952-25-7612  
E-mail: tiikihoukatsu@pref.saga.lg.jp

## J2 降格でもサガン愛は揺るがない！ 福祉施設の利用者がサガン鳥栖を応援して心身ともに元気になる 『SAGAN 高齢者すまいるエールプロジェクト』を実施します

県では、福祉施設利用者がサガン鳥栖のサポーターとなってクラブを支え、地域とのつながりを深めながら、生きがいやワクワク感を見出していく『SAGAN 高齢者すまいるエールプロジェクト』を実施します。本プロジェクトには、神埼清明高校（総合学科生活福祉系列）の2年生が全日程に参加し、高齢者との交流を通じて福祉について学ぶ機会としています。また、サガン鳥栖 SRO（サガン・リレーションズ・オフィサー）の高橋義希（たかはし よしき）氏がレクリエーションや試合解説を担当し、共に応援を盛り上げます。

### 記

#### 1. 実施施設

特別養護老人ホーム真心の園（鳥栖市村田町 1250 番地 1）

#### 2. 日時・内容

##### 【レクリエーション】

日時：令和6年11月7日（木曜日）14時15分～15時15分

内容：高橋義希 SRO によるサッカーレクリエーション

##### 【応援グッズ制作】

日時：令和6年11月23日（土曜日）14時15分～15時15分

内容：施設利用者が、高校生とともに手作りの応援グッズを制作

※この日は、高橋義希 SRO の参加はありません

##### 【名古屋グランパス戦の観戦（施設内）】

日時：令和6年11月30日（土曜日）14時00分～16時00分

内容：高橋義希 SRO による試合解説を聞きながら、施設利用者が手作りの応援グッズを使って応援

※報道機関の皆様へのお願い

取材・撮影の際には、施設利用者の顔がはっきり映らないよう、プライバシー保護に十分ご配慮いただきますようお願いいたします。

# SAGAN高齡者すまいるエールプロジェクト



長寿社会課

## 1. 事業概要

介護施設利用者や認知症の方（以下「高齢者等」という）が、サガン鳥栖の試合を応援し、選手を支える立場となることで、わくわく感や生きがいを見出すことを目的とする参加型プロジェクト。本プロジェクトは、高齢者等だけでなく、ご家族、介護スタッフ、学生、自治体職員、サガン鳥栖スタッフなど多くの主体が参加し、世代を超えた交流を通じて地域とのつながりを深め、高齢者等が社会貢献しながら生き生きと暮らすことができる魅力的で居心地のよい居場所を提供する。

## 2. ねらい

- ① 高齢者等がサガン鳥栖を応援することで**前向きに生きる姿（わくわく感）**を醸成する
- ② 高齢者等が地域社会とつながる**魅力的な居場所（社会参加できる場）**を提供する
- ③ 学生が**介護現場を知る機会**を提供する
- ④ 様々な構成団体が連携して高齢者等をサポートする**地域ネットワーク**を構築する

## 3. 活動内容及び時期

（学生との協働活動による）

11月 7日(木) 14:15-15:15 : サガン鳥栖OBによるレクリエーション

11月23日(土) 14:15-15:15 : 応援グッズの制作

11月30日(土) 14:00-16:00 : 施設での試合観戦（パブリックビューイング）vs名古屋グランパス戦）

## 4. 実施施設および構成団体

[実施施設] 特別養護老人ホーム真心の園（鳥栖市村田町1250番地1）

[構成団体] 県庁、(株)サガン・ドリームス、学校（神埼清明高校）、県社協

## 5. 広報ツール

県HP、サガン鳥栖HP及びSNS、プレスリリース



（写真はイメージです）

今回、試験的に1施設で実施し、  
次年度以降は実施効果を見ながら  
拡大検討